

9月定例会 市長より議会へ 行政報告



門脇禎夫市長

平成24年第5回定例会が9月5日に開会されました。定例会初日には議長・各特別委員長の報告、また門脇市長より各課関連の行政報告がありました。行政報告から抜粋して掲載します。

職員研修

8月21・22日に職員を対象とした防災研修を行った。

研修には227名が参加し、災害時職員初動マニュアルを基にして災害発生時の初動について学んだ。

入札状況

4月1日から8月16日までに行った入札の総件数は76件、予定価格の総額は8億7127万4200円、落札金額の総額は7億2040万6820円となっている。



お試し住宅

「定住にむけて」

香北町吉野にある、企業局の官舎を活用した「お試し住宅」の備品整備は6月末で完了し、即入居可能な部屋は3部屋となった。

8月13日に1名が入居し、定住に向けた活動を行っている。

姉妹都市交流

「積丹町より来市」

姉妹都市である北海道積丹町より、訪問団3名が8月3日から8月5日までの日程で来市され、8月4日には第44回土佐山田まつりに参加して交流を深めた。

県下一斉避難訓練

「総勢1784人が参加」

参加

9月2日に行われた県下一斉避難訓練には、36の自主防災組織において総勢1784人が参加し、避難訓練や炊き出し訓練また情報伝達訓練など実施した。

一方、市役所では第2配備の対象職員79

名による防災訓練を行い、震度5弱の地震発生を想定として、災害時職員初動マニュアルに従い情報収集訓練を行った。

また、地震発生により香美警察署の庁舎が使用できない状況を想定し、26名の警察署員と連携して、仮庁舎設置訓練や通信訓練を実施した。



第31回刃物まつりに来市(積丹町訪問団)

農業災害

6・7月に発生した農地や農業用施設の災害は農地3件、農道2件、水路2件で、被害総額は4700万円となった。

これらの災害は、9月中に国の査定を受けた後、順次復旧工事に着手する。

香美市3大祭り

賑やかに

今年も香美市3大祭りが盛大に開催され、合わせて1万6千人の方が来場し賑わった。各祭りの実行委員会や多くの市民ボランティアの方々のご尽力に感謝申し上げる。

有害鳥獣対策

捕獲頭数

増加

4月1日から8月20日までに、補助金を支払った有害鳥獣の捕獲頭数はニホンジカ643頭、イノシシ38頭、サル19頭であり、過去最高であった昨年度同期より増加している。

また、今年は、イノシシとサルによる農作物の被害が増加しており、特に捕獲するよう狩猟者の方々にお願いしている。

豪雨災害

物部町の林道決壊

7月の集中豪雨で、物部町久保和久保地区において、林道路側が欠壊した。集落までの車両通行が不可能となっていることから、災

害査定前に着工できる全応急工事制度を利用して早急に復旧本工事を行う。

その他の10件については、9月18日から21日に予定されている林野庁の災害査定を受けた後、速やかに工事着手し、不通林道の復旧を図る。

道路・河川の被災

7月11日からの梅雨前線豪雨により被災した道路・河川など併せて18件は、9月10日に予定されている第3次査定を受けるため準備を進めている。

簡易水道

影山地区、
緒佐古地区

土佐山田町の山田堰簡易水道影山地区送配水施設移設工事は、6月に完了し順調に稼働している。

また、物部町の大板簡易水道区域拡張工事（緒佐古）は6月に着手しており、完成は平成25年3月末の予定である。

公共下水道事業

中部分区（楠目地区）枝線管渠築造工事は、7月に着手した。

今回の工事は、国道の通行制限及び市道の通行止めを実施することから、関係者との協議や調整を行いながら円滑な施工を図る。完成は平成25年3月末の予定である。

学校の統合・休校

繁藤小・中、
佐岡小

繁藤小中学校と佐岡小学校の統合及び休校について、学校適正規模検討委員会の提言を受けて、市学校適正配置等推進本部により作成された適正配置計画案にのっとり、関係者の方々と協議を重ねてきた。

その結果、生徒保護者や地元の理解を得て、平成25年4月1日より

佐岡小学校を片地小学校へ、繁藤小学校を香長小学校へ、繁藤中学校を鏡野中学校へそれぞれ統合し、統合された3校は休校とする方針が決まった。

火災、救急出動減

平成24年1月1日から7月31日までの火災、救急及び救助出動件数は、昨年同期と比較して、火災件数は11件、救急出動は61件、救助出動は4件、いずれも減となっている。



龍河洞 リューくん
ごやなせたくし



佐岡小学校